

No. 3101

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸
幹 事 菅原 佳典
広報小委員長 川口健太郎



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和7年1月16日 第3102回

- ・会員リレー卓話：木本 隆昭 君
嶋田 恵 君
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3101回例会）

開催日 令和7年1月9日(木)

点 鐘 〔中村会長〕

ゲストの紹介

〔親睦活動小委員会 嶋田委員長〕

ゲスト：橋爪美智代さん、石垣よしみさん、岩橋逸子さん、
児嶋純子さん、中村有香さん、中元礼子さん、
佐原敏子さん、菅原知子さん、上野山千穂さん、
上野山りかさん

今月の誕生祝

〔親睦活動小委員会 嶋田委員長〕

配偶者誕生日：北畑衣美さん(1/27)、
川口恵美子さん(1/28)

おめでとうございます！！

ニコニコ箱の報告

〔橋爪(誠)君〕

中村君：明けましておめでとうございます。下半期もよろしく
お願い致します。コロナ、インフルエンザが流行中
です。ご自愛ください。

菅原君：新年明けましておめでとうございます。本年もど
うぞ宜しくお願い致します。あと半年、皆様の御協力の程
宜しくお願い致します。

成川(守)君：本日、年男所感を述べさせていただきます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

岩橋君：新年おめでとう御座います。皆様方にはご多幸
な年でありますよう祈っています。

上野山(捷)君：本年もよろしくお願い致します。

橋爪(正)君：会員の皆様、明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

宮井君：新年明けましておめでとうございます。本年もど

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」

次回のお知らせ

令和7年1月23日 第3103回

- ・外部卓話：「災害に備えて」
御前一晃氏（有田市役所経営管理部危機管理監）
- ・ソング：「我等の生業」



ぞ宜しくお願い致します。

成川(雅)君：新年おめでとうございます。本年もよろしくお
願いいたします。

松村君：あけましておめでとうございます。今年もよろしく
お願いいたします。

中元君：明けましておめでとうございます。本年もどうぞよ
ろしくお願いいたします。中村会長、菅原幹事、あと半
年頑張ってください。

上野山(栄)君：皆様、本年もよろしくお願い致します。セン
トリスの皆様年始よりありがとうございます。楽しみで
す。誠治さんの年頭所感ガンバッテ！

橋爪(誠)君：皆様あけましておめでとうございます。年頭
所感の発表させていただきます。

木本君：明けましておめでとうございます。本年も宜しくお
願い致します。

児嶋君：新年あけましておめでとうございます。年頭所感
橋爪君、年男所感 成川君、よろしくお願い致します。
又、ザ・ユニットのJAZZライブ楽しみにしています。

北畑君：本日、新年例会よろしくお願い致します。

嶋田君：明けましておめでとうございます。今年は元旦から
インフルエンザになりました。きっとあたり年です！本年
もよろしくお願い致します。

手島君：明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜
しくお願いいたします。

福田君：明けましておめでとうございます。本年もよろしく
お願いいたします。

井上君：明けましておめでとうございます。今年も皆様よろ
しくお願いいたします。

出席報告

〔クラブ管理運営委員会 上野山(栄)委員長〕

本日の出席者22名／25名

(うち出席規定免除者7名／8名)

会長の時間 [中村会長]

会員の皆様、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。昨年は能登半島地震や航空機事故に始まった波乱の1年でありましたが、今年は今のところ平穏なお正月で何よりでございます。能登半島は地震に加え9月の豪雨でも多くの被災者が出来て、我々2640地区でも支援金を募っており、有田RCも5万円を拠出致しました。先日は天皇皇后両陛下も能登入りされたとのことですが1日も早い復興をお祈りしております。



さて今年は巳年であります。巳年は蛇のようにしなやかで柔軟な姿勢が求められる年と言われます。そして蛇は古来より再生と成長の象徴とされていますので有田ロータリークラブも良き伝統は守りつつ、新たなクラブに生まれ変わるチャンスを迎えていると言えます。

ロータリーの事業は単年度終結が基本でしたがRIの3year-targetsへの方針転換で我々の奉仕活動も転換期を迎えることとなりました。そのチャンスはまず2月に複数年事業として開始する青少年奉仕プロジェクト「未来へキックオフ」に始まります。子供たちが真剣にボールを追いかける姿、そして笑顔を見るのが楽しみです。下半期はこの事業のほかに後期IDM、3クラブ合同夜間例会、親睦家族旅行、ローテーションデイなど残された事業は沢山ございますので、あと半年、皆様方の更なるご協力をお願い致します。

幹事報告 [菅原幹事]

1.国際ロータリー

職業奉仕月間 リソースのご案内

2.2640地区

- ・4月 開催クラブ社会奉仕委員長会議各クラブへのアンケートお願いについて
- ・地区大会ガイドブックと 会長エレクト研修講演録が届く

【回覧物】

Rotary誌

【後方掲示物】

- ・地区大会ガイドブック
- ・会長エレクト研修講演録



年頭所感



2020-21年度
会長 橋爪 誠治 君

新年あけましておめでとうございます。

まず、私は2013年1月17日に有田ロータリークラブに入会させて頂き入会して12年、来週から13年目に突入してまいります。

2020-21年には井上幹事のサポートをいただき有田ロータリークラブの会長という貴重な経験もさせて頂きました。会員の皆様には感謝しかありません。入会当初には、こういった場面で年頭所感を皆様の前でお話できるなんて想像もしておりませんでした。本日年頭の所感(感想)を述べる、機会を頂きましたので、とりとめのないお話になると思いますが頑張ってみます。

それでは、気を引き締めて令和7年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

今年はへび年ですね。どんな年なのかグーグルで検索してみました。検索結果は、「今年は「きのとみ」で干支の42番目の年」という検索結果が出てきました。

どんな年かと結論から申しますと今年は、とてもとても縁起の良い年のようです。ご存知でしたか？ 恥ずかしい話ですが、私は干支=十二支だと思っていましたが、干支(えと)とは、中国の上古に始まった暦法上の用語で、「十干十二支(じっかんじゅうにし)」を略した言葉。干支の組み合わせは60通りあり、60年で一巡して「還暦」となります。満年齢60歳・数え年61歳で還暦を祝う由来は、自分が生まれた年の干支に還ることに由来しているって知って驚きと感動でした。

干支の順番は、子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)

十干は甲(こう)、乙(おつ)、丙(へい)、丁(てい)、戊(ぼ)、己(き)、庚(こう)、辛(しん)、壬(じん)、癸(き)

例えば「乙(きのと)」は十干では第2位であり、困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる横へと広がる草木を表しています。

「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。

この2つの組み合わせである乙巳(きのとみ)には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。その他に「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年・「努力を重ね、物事を安定させていく」年・「成長の途中」と「内なる変化」を表す年があるそうです。

再生と変化としなやかに伸びる草木っていう言葉は、今の日本にとっても必要なキーワードのような気がしますし、また私の会社にとっても、とても大事なキーワードに感じています。

中小企業庁のトップの年頭所感を拝読させて頂きますと、『日本経済は、足下において企業の賃上げが加速しつつあり、国内投資も30年ぶりの高い水準になるなど、「潮目の変化」ともいべき兆しが見られています。この変化をしっかりと後押しすることで、デフレ経済から脱却し、成長と分配の好循環が力強く回っていく「賃上げと投資が牽引する成長型経済」へ移行できるのか、まさに今、正念場を迎えています。それを支えていくのは、日本の雇用の7割、付加価値の5割以上を占める中小企業・小規模事業者の皆様です。これからの日本経済が持続的な成長を果たすためには、まさに経済の骨格である中小企業・小規模事業者の皆様が主役となっていかなければ

ればなりません。』とは言え、地方の置かれている現状の変化を整理すると、既に変化が起きている事柄

①加速する人口減少問題また、それに伴う雇用問題(地方の方が難しさが顕著)

どんどん変化が起こる事柄は、

②AIやテクノロジーによる仕事環境の変化

既に大きな変化が起こる事柄は、

③情報の取り方、テレビ、新聞からSNS等の多角的な収集方法より、お互いのコミュニケーションの取り方が複雑化

④大企業から要請が強まるであろうサプライチェーンによる絶対起こる事柄は、SDG'sの取組強化と強制

⑤気候変動や、地殻変動の影響

変化は待った無しで襲い掛かりってきます。マーケットの変化のスピード感、業界の変化のスピード感が、私本人と従業員も仕事の対応力が追いついていけるように社内でも、変化について話し合う時間も増えていています。

変化に順応していくには、日々の業務の在り方を見直し、業務の効率化や、省く作業やマンネリ化している業務を常に見直す癖が求められていると思います。そうすることで、業務に対しての新しいアイデアのヒントが見つかるかもしれません。今はすぐに良いアイデアが見つからないかもしれませんが、業務の改善を常に言い合える環境こそが大事だと考えています。また良いと思うことはすぐ実行に移す癖も大事だと思います。失敗は恐れず、行動して、反省して、経験値をあげる意識を高めたいと願っています。

この先から述べている待った無しの変化は、日本の歴史上で言えば、天下泰平の世の中に現れた江戸幕末のペルー来航ぐらいのインパクトではないでしょうか？

今までの常識が、どんどん非常識になるかもしれない時代に突入しているのです。変化を話合える環境が一番大切だと思います。環境が変化する中でもまず、第一に大切にしたい羅針盤は、四つのテストだと信じています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1, 真実かどうか
- 2, みんなに公平か
- 3, 好意と友情を深めるか
- 4, みんなのためになるかどうか

ビジネスの道を外さない羅針盤は四つのテストですが、変化に対応しうる四つのテストを僕なりに作ってみました。

変化への四つのテスト

変化は恐れずに、これに照らしから

- 1, みんなが変化に順応できるかどうか(配慮)
- 2, 変化にみんなの理解がもらえるか(理解)
- 3, 変化することに、好意と人と人がつながるか(面白み)
- 4, 未来の変化に耐えうるか(危機感)

両方の四つのテストの共通項は、続ける根気が必要だ

と思います。根気よく続けるエネルギーの源は「人へ(従業員、お客様へ)の感謝」の気持ちだと思います。こんな考えを素直に言えるのは、ロータリーや有田ロータリークラブで教わったからだと思っています。

乙巳(きのとみ)の年は、しなやかに成長と変化を大切に仕事に打ち込んでいきたいと思っています。

最後になりますが、変化としなやかな成長「きのとみ」という年にふさわしい、成長と発展が会員皆様の事業がますますご発展され、2025年が素晴らしい一年となりますこと、そして皆様とそのご家族のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、私の年頭所感とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

会員年頭所感

中村君:明けましておめでとうございます。年末ジャンボはなんと・・・。あと半年宜しくお願い致します。

菅原君:新年にあたって毎年のことながら何か計画を立てる事もないのですが、健康で一年過ごせれば幸いです。

成川(守)君:今年は年男です。健康に注意して12年後の年男を迎えたいと思います。

石垣君:今年から車の運転をやめました。送っていただくことがあると思いますので、よろしくお願いします。

岩橋君:新年おめでとう御座います。皆様方にはご多幸な年でありますよう祈っています。

上野山(捷)君:本年も健康第一でいきます。

應地君:あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

橋爪(正)君:おだやかな日々が続くことをお祈りします。

宮井君:先ず健康に留意して、ロータリーを楽しみます。

成川(雅)君:去年今年(こぞことし)

松村君:当たり前ですが、言行は「四つのテスト」に照らしてから。より良い行動を行いたい。

中元君:Yes We Can Change!!

上野山(栄)君:今年の私の1文字は「改」とし、すべての私の常識を考え直して時流に合わせて改善していきたい年です。

井上君:健康に!!

川口君:本年は、後回し・先送り癖を気付いたらすぐするに転換する。

木本君:今年一年、恙無く過ぎていきますように!

児嶋君:今年1年はゆっくりと加速をつけながら7月から幹事職を頑張りたいと思います。

福原君:今年は禁煙します。

北畑君:ダイエット頑張ります。今年は減らした体重を持続して戻らないように努力します。

嶋田君:健康第一。人の幸せを守る為に仕事します!

手島君:和歌山4年目となり、転勤が微妙な頃となりました。今春以降も継続となった場合には引き続き宜しくお願いいたします。弊所事業についても良いご報告ができるように努めてまいります。

佐原君:日々生かされていることに感謝して、毎日を過ごしていきたいと思っています。

福田君:本年も元気に頑張りたいと思います。

山下君:明けましておめでとうございます、本年もできるだけ頑張らせていただこうと思います。よろしくお願いたします。

年男所感

巳年生まれの年男の皆さん

成川 守彦 君(昭和16年)
橋爪 正芳 君(昭和16年)
井上 修平 君(昭和40年)
木本 隆昭 君(昭和40年)



成川 守彦 君

「ロータリアンであることの意義」

二度とない人生だから 一輪の花にも 無限の愛をそそいでゆこう

一羽の鳥の声にも 無心の耳を かたむけてゆこう

私の尊敬する坂村真民先生の詩です。

二度とない人生だから、一輪の花にも、一羽の鳥の声にも、即ち、どんな小さな生き物や植物にも、愛を持って、接していこう。

小さな事にも心を配ろう。小さな事を大切にすることにより、人生は充実し、心豊かになるでしょう。これはロータリーにも通じることだと思います。

我々は、どんな小さな事にも、奉仕の気持ちを持って接していきたいものです。どんな小さな事でもいい、自分に出来るものを探して、何かをしよう。そこに、ロータリーの奉仕の花が咲きます。

Official Directory(公式名簿)最終頁にある“A Brief History of Rotary”の中に、ロータリーの短い歴史が記載されています。

この頁の最後に、“Rotary clubs everywhere have one basic ideal—the “Ideal of Service”, which is thoughtfulness of and helpfulness to others.”

ロータリー・クラブは、全世界で一つの基本的な考えを持っている。それは、「奉仕の理想」である。それ即ち、他の人への思いやりと人助けである。・・・と書かれています。

ロータリーでいいます「奉仕の理想」というのは、**他の人への思いやりと他の人を助けること**です。即ち、「愛」であります。

マザー・テレサは、「Love is giving」と言いました。「愛というのは捧げることです。差し出すことです。」「Love is giving」・・・と。

又、20世紀の偉大な古生物学者であり神学者であった

ティヤール・ド・シャルダン是这样子言っています。

人生にはただ1つの義務しかない。それは、愛することを学ぶことだ。

人生にはただ1つの幸せしかない。それは、愛することを知ることだ。

ロータリーの基本に流れているのは、「愛」であります。

「愛」は「ロータリーの心」であります。

1)ロータリーは素晴らしい

私は、ロータリーに入会させて頂き、多くの会合に出席させて頂き、そして多くの素晴らしいロータリアンの皆様と出会うことが出来ました。私は、「ロータリーは素晴らしい」と思っています。ロータリーに入っていなかったら、今の私はなかったと思います。

ロータリーは、まさしく私に大きな影響を与えてくれました。

以前、“The Rotarian”誌で、マジアベRI会長は、「ロータリーの知識を深めて下さい。」「ロータリーを学ぶ時間は未来への投資」と話しております。

その「ロータリーの知識を深める努力」「ロータリーを理解する努力」とは、私は次の三つだと思います。

自分で勉強をすること

先輩に聞くこと

多くの会合に出席すること

一つ目の「勉強をすること」について、對本宗訓(つしもと そうくん)氏の、「医の修行、僧の修行」の話を、私に当てはめて、紹介します。

私はドクター医者ですが、医療は患者さんの話にじっくり耳を傾けることから、始まります。医学生は、大学で医学を始め一般教養の勉強をしていますが、他の大学生より厳しい勉強をしています。それは修行をもしているからです。

患者さんは他人である医者に、自分の体を任せます。しかし、誰でも本当のところ、他人に体を触らせたくない筈です。私は産婦人科の医者ですが、特にご婦人は、医者といえども恥ずかしいところを見せたくありません。

しかし不安だから、病気で辛くてたまらない、痛くてたまらない、苦しいから、なんとかお願いしますと言って医者のところへ来るのです。そんな時、ろくすっぽ勉強もしていない、医者としての良心もモラルも持っていないような医者に、誰が診てほしいと思うでしょうか。

医学生は大学で修行をしているのです。何の修行かといえば、

「患者さんの体に触れる業(わざ)を磨くための修行なのです。」

患者さんの体に触れさせていただくにふさわしい力量を養うためなのです。医者をめざす者として、それ相応の厳しい修行が必要なのです。

福井県の有名な曹洞宗の修行道場である永平寺で、雪の降り積む真冬の午前3時。若い修行僧たちは、身を切るような冷たい水で顔を洗い、白い息を吐きながら朝のお勤めをし、そして極寒の禅堂で座禅をします。少しでも動こうものなら、たちまち堅い棒で容赦なく痛打されます。雲水は、なぜこんな厳しい修行をするのでしょうか

か？

一体、何のための修行なんですか？

それは、「人の心に触れる ^{わざ} 業を磨くための 修行なのです」

同じように、我々ロータリアンは、ロータリーの「奉仕の愛の花」を咲かせるために、心に田んぼ「心田」を耕しているのです。即ち、例会や いろいろな会合・奉仕プロジェクトで、修行をしているのであります。

米山梅吉氏は、「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。「例会は、お互いが切磋琢磨して、自己研鑽に励む貴重な修練の場である」ということです。

皆様ご承知のRotary Wisdom という本の中にかかれています “Why I am a Rotarian” で、アルゼンチンの元RI理事(1977-79) Jorge H. Aletta de Sylvasさんは、次のように述べています。

Finally, Rotary is a very special global education center. It is a University of life, one in which all participate equally as teachers and students.

言い換えれば、ロータリーは、非常に大きな、世界的な教育センターである。それは人生の大学であり、そこには、人々は皆、先生として或いは生徒として等しく参加できるものである。

2) ロータリーとは何か

ところで、皆さんは今述べましたように、ロータリーという教育センターで修行するわけですが、皆さんはロータリーに対して、何を期待しておられますか？

ポール・ハリスはロータリーについて、次のように述べております。

ロータリーとは何か・・・という答えは難しい。しかし、ロータリーが我々に何をしてくれたかということを考えるとこれは割合簡単である。

ある人は「もし、ロータリーのお陰で、私達が人生とか人間に対して暗い意地悪いイメージを抱かず、温かいイメージを持つことができるようになったら、そして、もしもロータリーが、私達に、全てに対して広い心を持ち、他人の長所を認めてやるような心を与えてくれたならば、また、もしもロータリーのお陰で、人生の喜びと美しさを自分でも取り入れ、他人にも施すというタイプの人達と快いおつきあいができるようになったとしたら、これで我々がロータリーに期待していることの全てを、ロータリーは我々に与えてくれたことになる」

こう言っています。いい言葉です。努力することにより、ロータリーで修行することにより、ロータリーは我々に多くのことを与えてくれます。

それでは、我々は、ロータリーに対して、何ができますか？

「我々は、ロータリーに対して、何ができますか？」という問いかけに対して、多くの国のロータリアンが、こぞって答えます。しかし、同じ答は一つありません。

RIは、奉仕団体と言っていますが、日本のロータリアン

の多くは、例会や奉仕活動を通じて人を育てる、「人作り」であると言います。

では、共通点の一つもないのでありましょうか？あります。一つあります。ポール・ハリスがロータリーの39周年で次のように述べております。

それは大きなオルガンの低い雑音のようなものです。

遠くで 浜辺に碎ける 波の音のようなものです。

そして、その波の音の中から・・・善意<善意<善意<善意・・・ という声が。

ロータリーの多種多様な活動の下にある変わらぬ基調、善意、という基調です。

ロータリーには善意があります。善意がなくなれば、ロータリーではありません。

・・・この様に述べております。

さて、皆さん！ロータリーは我々に、多くのことを与えてくれます。我々は、ロータリーに対して、何ができますか？ロータリーだけではありません。我々は、この世で、この人生において、何ができますか？

ロータリーで修行した事を、どう活かしますか？

<ロータリアンであることの意義>

丸山浩二

1941年(昭和16年)3月29日^[2] - 2010年(平成22年)12月3日^[3]

日本の手話通訳者・講演パフォーマー

1966年、日本で初のプロ手話通訳者を宣言し^[4]、1977年、NHKの『聴力障害者の時間』の初代メインキャスターを10年務める^[4]。1994年、『手話ニュース845』のキャスターとなり、もみあげの特徴的な風貌と手話パフォーマンスで強烈な印象を与えた。

丸山浩二さんは、次のように問いかけています。

我々は、この世に、何のために、生まれてきたのですか？我々がこの地球に生まれてきた意義とは、なんでしょう？生きている喜びとは、なんでしょう？

人生70年、日数に数えて、2万5千5百50日。

人生80年、日数に数えて、2万9千2百日。

私たちはこの人生を、これまで一日一日、どのように生きてきたのでしょうか？これから、この一日一日をどのように大切に、生きていくのでしょうか？

人は他人から助けられる立場にいる限り、決して満足はしません。幸せにもなれません。老人であろうが、子供であろうが、病人であろうが、他の人に何かをしたとき、初めて人は満ち足りることが出来るのです。

不幸のほとんどは、「……してくれない」というものの考え方から生まれます。労せずして楽をして得ようとする発想、自分だけ得をしようとする発想は、心の貧しさであり、そこにとどまっている限り、生きていることの本当の喜びは、何時までたっても手に入れることは出来ません。

人間にとって最高の荣誉ある喜び、それは、自分が他の人の役に立つことが出来る、自分の存在が他の人の喜びに繋がる、と言うことを知ることです。

この人間としての 最高の荣誉である喜びを一度も味わうことなく死んでしまったら…。これほど寂しいことはありません。

幸い、我々はロータリアンとして、人様のお役に立つ機会に恵まれております。……ロータリーで修行を積んで、“I serve”が出来るのです。それが、ロータリーです。人様のお役に立つ事ができれば、これほどの喜び、生きていることの喜びはありません。

そして、人間、生きて最後に残すものは「どれだけ集めたか」ではありません。「**どれだけ与えたか**」です。“**Lend a hand**”であります。出会いに感動し、人の心に出会いを残すことが、生きる喜びであり、生きた証でもあるのです。

この出会いですが、運命は、誰と出会ったかで、決まります。

その出会いは、何で決まると思いますか！！その人の「人格」で決まるのであります。誰に出会うか、どんな人と巡り会うかは、その人の人格にふさわしい出会いしか生まれないものといわれます。

ないものねだりで不満ばかりこぼしている人は、そういう人としか出会いません。「不幸だ。不幸だ。」と言っている人は、そういう人にしか巡り会いません。

坂村真民先生の詩に、こういうのがあります。

光だ 光だという人には いつか光が射してくるし

闇だ 闇だという人には いつまでも闇が続く

類は友を呼ぶと言いますが、不思議なもので自分と似た者が寄ってくるのです。もちろん、逆もまたしかりです。

男と女、夫と妻、親と子、上司と部下、友人関係、師弟関係…どの組み合わせも、その人の人格にふさわしい出会いであり、人脈です。トンビはタカを生みません。トンビはトンビ、タカはタカ。出会う相手は、自分の人格の反映でもあるのです。

ちょっと話が変わりますが、結婚というのは、大きな出逢いです。悪妻に悩まされたことで有名なソクラテスは、こう言っています。「**是が非でも結婚したまえ。良妻を得れば幸福となろう。悪妻に当たったら哲学者となろう。**」

生も一度きり 死も一度きり

一度きりの人生だから 一年草のように 独自の花を咲かせよう

坂村真民

一度きりの人生だから 一年草のように 独自の花を咲かせよう。そのためには、出会いを豊かにしたいものです。そう思ったら、それにふさわしい自分になることが大前提なのです。

ロータリーという人生道場で「心田」を耕し、修行することにより、自分が人間的に成長し、より志の高い自分になり、その結果、より良き出会いに巡り合うことが出来るのであります。

それが、「ロータリアンであることの意義」ではないでしょ

うか。

最後に、マザー・テレサさんの言葉を、紹介します。

マザー・テレサは、「**私たちは、“ロウソク”のように働きましょう**」と言われました。

“ロウソク”というのは、部屋が真っ暗になっても、ドアから“ロウソク”が一本入ってくると、入り口の辺りが明るくなります。そして、部屋の真ん中にきたら、部屋全体が明るくなります。そしてもっと自分に近づいてきますと、暖かさを感じます。

“ロウソク”は、自分を燃やして、自分を小さくしながら、明かりを灯し、暖かさを与えるのです。

はじめに、「ロータリーは、『愛』であり、『愛』は『ロータリーの心』である。」と話しましたが、**ロータリーの奉仕、即ち「慈愛」は、“ロウソク”のようなものではないでしょうか。**

Sow the Seeds of Love when you Lend a Hand.

「手を貸して 慈愛の種を播きましょう」

ご清聴、有り難うございました。

和歌山県田辺市の熊野本宮大社では、新年への願いを込めた「一文字」が書き上げられました。

熊野本宮大社の境内で、約3メートル四方の白い布に大筆で豪快に書き上げられた「来年の一文字」は、『思』です。

「人が人を思う年になってほしい」という願いが込められています。

閉会・点鐘

〔中村会長〕

後期会費等集金のご案内

日時：2025年1月23日（木）
正午～（30分）

場所：例会場

後期会費等の集金を行います。
ご準備の程、
よろしくお願い致します。

新年例会 ジャズのタベ



中村会長、菅原幹事、
中元副会長による鏡開き

中村会長
梅酒プレゼント
ありがとうございます！



2022-23年度会長
井上君 乾杯挨拶



ジャズ演奏
The UNITの皆さん



Guitarist
塩本 彰 氏



Bassist
Zingoro 氏



Drummer
上場 正俊 氏

